



サンフランシスコ稲門会について

About

1 975年5月、当時キッコーマン・インターナショナルの米国支配人だった故・鈴木進一氏を中心となり、サンフランシスコに稲門会をつくられた。第1回の集まりには70人を超える卒業生が出席し、有名日本料理店「東京すきやき」で発会した。1970、80年代はバブル景気に乗って日本の進出企業が激増した時期である。その後のバブル崩壊などの経済環境の変化を受けて、会員の増減はあるものの、今年で設立38年目を迎えた。

その間、西原総長、白井総長など、多数の総長を当地にお迎えした。昨年は稲門会が中

心となり、早稲田大学サンフランシスコオフィス開設祝賀会を催し、鎌田総長も来訪された。当会は現在、卒業間もない20代の会員から80歳を超えられた会員まで、総勢90名を擁している。卒業年度ごとの幹事から構成する幹事会、講演会や隔月の集い、ゴルフレッスンなど、気楽に集まり、楽しめる企画をたて、会員の親睦と新会員の開拓に努めている。

当会のWebサイト(欄外)を、ぜひご覧ください。また、Facebook グループでも交流を図っています。

二川丈夫(1961年政経)、草川博次(1974年理工)



早稲田大学サンフランシスコオフィス開設祝賀会



ゴルフ早慶戦



留学生も交えての総会

サンフランシスコの魅力

Charm



ゴールデンゲートブリッジ

が多くのスタート・アップを生み、世界的なITブームをつくり出しました。シリコンバレーには、皆さまにもなじみのある有名なIT企業が建ち並んでいます。

そして、その想像力が当地の豊富な食材と健康志向を結び付け、「カリフォルニア・キューブ」が生まれました。料理にナパバレーのワインが加われば、至福のひとつを楽しめます。さらに、和食のよさを取り込んだフュージョンにも注目です。

この街は1年を通じて温暖な気候に包まれ、エコロジーを基調に、人と自然が調和した生活を築いてきました。そこには「和」の精神と通じるものを発見できます。

日本人に親しみがあり、関係が深い都市、それがサンフランシスコです。

西村知己(1977年理工)

カリフォルニア州サンフランシスコは、同じ緯度の日本と、太平洋を挟んだ隣人です。3年前には、勝海舟の咸臨丸寄港150周年を祝い、戦後のサンフランシスコ講和条約の舞台にもなりました。

街の魅力の一つは、人種の多様性と活力です。多彩な人種と自立心に富んだ企業家精神

サンフランシスコ稲門会の人びと

People

会長メッセージ

風光明媚なサンフランシスコとIT産業のシリコンバレーを背景に、当会は会員の40%が理工学部出身だが、国際教養学部ほか多様な学部出身者、人材が集まっており、近年は若い会員、女性会員も急増している。

UCバークレー校、スタンフォード大学などがあり、多くの留学生を支援してきた。また、去年8月には早稲田大学出身の猪俣弘司総領事(1978年法学)、みどり(1977年教育)御夫妻のご協力により、日本総領事館で鎌田総長を迎え、当地の多数の大学関係者も交えて盛大に早稲田大学サンフランシスコオフィス開設に伴う総領事主催レセプションが催された。今後も当会は大学のグローバル化に協力する一方、大学が当地に派遣する教員・研究者の講演や交流を通して、早稲田との絆を深めていきたい。

現在の活動は、講演以外にも演劇界に身をおく私の関係上、公演・料理教室など文化面のほか、活発なゴルフ、若い会員が自由に交流できる隔月会など、バラエティーに富んでいる。さらに、この地ならではの稀有な「一匹狼的会員」を招き、彼らの成功のハウツーなどを聞きながら、アットホームながらも刺激のある、会員同士の縦横な交流を推進し、新鮮なアイデアを発信していきたい。

ウォーカー(土居)由理子(1965年文学、1973年文研修)

会員からのメッセージ

●サンフランシスコ近辺に早稲田大学から留学生がたくさん来ており、年に1度の稲門会総会に、留学生の方々をお誘いしています。今年3年目で22人と、参加してくれる留学生も増えていきます。稲門会には、米国で会社を起業した人、米国企業に長年勤務した人など、ユニークな人たちがおり、米国に来るきっかけ、米国での起業、ベンチャー企業での経験、米国で日本製品の市場開拓をした話など、留学生にとっても興味深い話ができていると思います。これからも、留学生の支援、そして早稲田大学のグローバル化に貢献できればと思っています。

黒田 豊(1973年理工)



隔月の集い バーベキュー大会

●夫、2歳の娘と2010年からベイエリアに居住、現在サンフランシスコのIT関連会社で働いています。米国で子どもを育て上げた先輩方からアドバイスがもらえること、また今まさに働きながら米国で子育て奮闘中の方々と情報交換できることが、サンフランシスコ稲門会に参加する大きな魅力の一つです。

年代も専攻も性別も職業も違いますが、共通点は、皆さん知的でエネルギーが豊富なこと！平日はバリバリ働き、週末はゴルフ、マラソン、サーフィンなど趣味に全力投球される姿に刺激を受ける日々です。今後は、子連れの方も参加しやすいイベントを増やしていきたいです。

吉国(佐々木)真枝(2004年理工、06年工研修)



ケーブルカー

サンフランシスコ稲門会ゴルフチーム

サンフランシスコ稲門会ゴルフチームは、年2回の春と秋の早慶戦勝利を最大の目標に、Monthly Golfを実施し、稲門会の懇親を図りながら活動しております。

今年5月にナパバレーで開催された春の早慶戦では惜しくも敗れたものの、若手の参加者が増えており、また、エンジのポロシャツのユニフォーム制を導入したりと、チームの勢いと一体感が高まってきております。

10月に行われる早慶戦では、早稲田から約8000km離れたカリフォルニアの青い空に、歓喜の「紺碧の空」が響きわたることを信じ、勝利に向けて邁進してまいります。

宮村誠志(2003年政経)